

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 2020年 11月 2日(月)16:00~16:30

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 平野・嶋野・笹本・中川・福田・吉村・加藤

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	7人	9人	0人	0人	16人

前回の改善計画
 継続して事前訪問で、自宅環境の写真等の使用し情報を分かりやすく準備する。
 初期利用の様子を記録を充実させ、他職員への共有を図る

前回の改善計画に対する取組み結果
 事前訪問で、自宅環境の写真等の使用し情報を分かりやすく準備して共有し、利用者の理解を深めた。
 利用初期の様子は記録をし、又ミーティング等で他の職員への共有を図った。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	4	12	0	0	16
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	4	11	1	0	16
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	3	12	1	0	16
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	2	13	1	0	16

できている点
 利用開始の際には、積極的に声かけをしてコミュニケーションをとっている。

できていない点
 事前情報を読み深める時間が少なく、利用開始までに把握ができない事がある。
 初期利用の記録の仕方が業務中心の記録のとどまり、本人の気持ちや様子が分かる物が少なく、細かい情報の共有ができていないことがある。

次回までの具体的な改善計画
 事前訪問で自宅環境の写真等を使用し情報を分かりやすく準備して、他職員への共有を図り初期の支援に役立てる。
 利用開始時は、本人の様子や言動など、本人の気持ちが読み取れるような内容を細かく記録し、共有する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 20年11月4日(16:00～16:30)

2. 「～したい」の実現(自己実現の尊重)

メンバー 平野・中川・大越・木谷・吉村・加藤・嶋野

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3人	10人	3人	0人	16人

前回の改善計画
利用者への質問では、答えやすい選択肢を用意するなどの工夫をして、「～したい」の聴き取りをする。「～したい」の実現に向けて、分かりやすい表示をする。「～したい」実現の樹を壁画にする。

前回の改善計画に対する取組み結果
利用者にしたいことを聴き取り、大きな木を描いた壁画を作り、リンゴの実を型取った用紙に、皆さんの目標を書いて、壁画の樹に張り付けた。目標を達成したら、裏返して、青いリンゴが赤く実ったことが分かるようにした。表示する事で、利用者も職員も意識づけができ、目標に沿えるよう関わりができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	「本人の目標(ゴール)」がわかっていますか?	1	11	4	0	16
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	3	10	3	0	16
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	0	8	8	0	16
④	実践した(かかわった)内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	1	11	4	0	16

できている点
～したいの聞き取りと、叶えたいの木での表示が出来たことは、本人の実現に向けての目標が出来たことや、叶えたいの木で利用者の「～したい」が理解でき利用者への関わり方のきっかけになっている。また、コロナ禍の制限の多い中でも、実現のために工夫を行ない、関わった内容についてはミーティングや記録で共有した。

できていない点
・意思疎通が困難な利用者からの発信を受けとることができず、本人の気持ちや意欲を十分に引き出すことができていない。
・利用者が希望しているかどうかに関わらず、何かを提案提供してしまっていることもある。
・見当が不十分で、関わりができていない

次回までの具体的な改善計画
利用者への質問では、答えやすい選択肢を用意するなどの工夫をして、「～したい」の聴き取りをする。前年同様「～したい」実現の樹を壁画にするが①年度内に行い、年間行事に組み込めるようにする。②実現の樹の表示する内容を、本人のプロフィールを加え、どんな人かわかりやすく表示する③ミーティングでの検討・共有を行う。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 20年11月6日 (16:00 ~ 16:30)

3. 日常生活の支援

メンバー 平野・嶋野・笹本・木谷・高野・幸道・吉村・加藤

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	12人	3人	0	16人

前回の改善計画
以前の暮らし方10の項目を文章化し、本人や家族に聞き取り、職員が共有できるようにする。

前回の改善計画に対する取組み結果
以前の暮らし方を記入する用紙を使い、聞き取った内容を記録した。担当利用者の「～したい」の聞き取りにおいて、以前の暮らし方や好きなことを詳しく聞くことが出来た。そのため、特定の方の以前の暮らし方は把握しているが、全員分の把握はできていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	0	7	9	0	16
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	6	10	0	0	16
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	3	8	4	0	15
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	5	11	0	0	16
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	1	13	2	0	16

できている点
日々の体調の変化や様子など気になったことは、ミーティングで共有し必要時ケアの検討をして、ケアコラボに記録、共有している。個々に合わせた介護、訪問時の1対1の対話、自宅環境の把握なども心掛けている。日々の連絡帳の記載を利用したり、送迎時に会話をしたりして、家族の声を聴くようにしている。

できていない点
「以前の暮らし方」を聞き取り記録に残しているが、読み込む時間が取れず、共有が足りない。

次回までの具体的な改善計画
「以前の暮らし方10項目」の聞き取り・記録をし、毎月の職場会議で数人ずつ担当職員が紹介し共有して利用者の理解・関心を深める。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 20年11月12日 (16:00 ~ 16:30)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 平野・中川・高野・福田・幸道・加藤

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	5人	8人	3	0人	16人

前回の改善計画
利用者と家族との関係強化のために、家族の要望を聞き共感し受け入れ、支援内容の検討をする。継続して独居の利用者に関わる民生員や地域住民との連絡を密にする。
前回の改善計画に対する取組み結果
独居の利用者については、地域の方、民生委員の方に協力を得、支援できている。家族への支援方法の指導で、家族が介助することが出来るようになり、関係強化が実現できた例もあった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	3	8	5	0	16
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	3	10	3	0	16
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	1	9	6	0	16
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	3	8	5	0	16

できている点
地域や近所の方との関係に気を配り支援しており、先方からの連絡で利用者対応が出来ることもある。生活状況の把握は、ミーティングで情報を共有している。

できていない点
全ての地域ごとの民生委員の把握が出来ていない 被介護者の状態を、家族と理解共有ができていないことがある。事業所が家族からの要望をただ受けるのではなく、居宅介護事業所としての役割と家族介護者としての役割を、両者の理解共有のもと、きちんと見極めていく必要があると感じる。

次回までの具体的な改善計画
地域ごとの民生委員さんの情報を把握し、社会資源の活用役に役立てるようになる。 また、家族と過ごす時間に家で出来る介護についての具体的な提案をしていき、家族の介護力を引き出すようになる。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 2020年11月17、18日（16:00～16:30）

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 嶋野・平野・大越・木谷・中川・高野・福田・幸道・吉村・加藤

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組めましたか？	3人	8人	3人	0人	14人

前回の改善計画	<p>①利用者をご自宅で支援する方法を、家族に説明や指導し、家族の介護力の強化につなげていく</p> <p>②外部の資源を有効に使う。</p>
前回の改善計画に対する取組み結果	<p>自宅で支援する方法を説明して家族に理解いただき実施してもらっている事例や、介護者の入院をきっかけに、退院後の支援について通所・訪問・宿泊をうまく組み合わせることで介護者にも安心して支援してもらうことが出来るようになった事例がある。</p> <p>また、近所の方や民生委員の支援を頂きながら独居生活が持続出来ている事例がある。</p> <p>新型コロナ禍で、事業所だけで支えないような支援を考え、独居の方の食事支援をあえて外部の配食サービスも使うようにした。</p>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか？	4	11	1	0	16
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか？	4	7	5	0	16
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか？	6	10	0	0	16
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか？	5	11	0	0	16

できている点	<p>ミーティングでの情報共有のもと、利用者のニーズに応じて、個々の支援に工夫している。</p> <p>家族に対して、介助の方法などを伝え自宅での介助に活かして貰うように働きかけることができた。</p>
--------	---

できていない点	<ul style="list-style-type: none"> ・本人ではなく、家族のニーズのみ受け・本人のニーズに添えず、納得が不十分なことがある。 ・利用の内容が、妥当・適切でないと思われるケースもある。家族が担える分は、事業所任せではなく家族の理解を得て協力しあえるとよい。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	<p>居宅生活を続けていくために家族介護の必要性への理解をして頂けるよう努める。個々の家族の状況に応じた事業所の役割と家族としての役割をきちんと見極め、必要な部分の支援を行っていく。</p>
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 2020年11月21日(16:00～16:30)

6. 連携・協働

メンバー 中川、高野、吉村、鈴木、平野、嶋野

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	2人	7人	5人	14人

前回の改善計画	法人内の子育て支援事業所との交流を図る企画を検討し実施する。
前回の改善計画に対する取組み結果	感染症拡大予防により外部との交流が難しくなり、企画の検討が進まず、実施できなかった。この状況でも出来ることを考えるべきだった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか?	1	8	6	0	15
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	1	4	7	2	14
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか?	0	6	4	5	15
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	0	3	4	9	16

できている点	感染症対策で会議やカンファレンスが行われない事が多いが、利用者と直接関係のある機関との連絡や会議は行えており、参加した職員の記録から情報共有できている また、夢カフェを行っており、職員が交代で参加するので、地域の方と関わりが出来る
--------	--

できていない点	社会状況、感染症の影響で、イベントなど行えていない。参加できていない。
---------	-------------------------------------

次回までの具体的な改善計画	同法人内の子育て支援事業所や、地域の保育園などと交流を図る企画を具体的に検討し実施する。(コロナ禍でも可能な、マスクや、雑巾などの制作物をプレゼントするなど。)
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 2020年11月27日(16:00～16:30)

7. 運営

メンバー 平野・嶋野・大越・高野・鈴木・福田・吉村

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	5人	9人	1人	15

前回の改善計画
運営推進会議の利用者家族の参加を増やす。参加しやすい曜日、時間、場所について意見をもらう。イベント企画の工夫をする。
前回の改善計画に対する取組み結果
利用者家族の参加を促す案内 運進の参加者が増えていない 感染を懸念している家族もあるのではないかと。家人の興味が薄い。参加しにくい日程だった

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができているか?	0	9	7	0	16
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	2	11	3	0	16
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	0	12	4	0	16
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取り組みを行っていますか?	0	11	5	0	16

できている点
①事業所全体では、アイデア提案で意見できる場がある。ミーティング等でも発言できるし、上司に話すこともできる ②利用者・家族・介護者からの意見や苦情はミーティング等で共有、対応を検討し実施している。 ③利用者の声で丁寧に皆さんの声を拾い、運営に役立っている ④運営推進会議で、地域に困った方はいないか聞き包括に繋がったり、地域の行事を聞き出来るだけ参加している。

できていない点
今年は地域との積極的な活動を自粛している為、地域と共同した取り組みは出来ていない ①意見を述べる場が少ない

次回までの具体的な改善計画
今後も、利用者・家族・地域の方の声に耳を傾け、聞き逃さないように「利用者の声」に拾い上げ、運営に繋げていく 同時に、定期的に行う運営推進会議への参加を促していく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 2020年11月30日(16:00～16:30)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 平野・嶋野・木谷・中川・高野・福田・鈴木・吉村

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	13人	2人	0人	16

前回の改善計画
研修の報告書を全員で回覧し、受講内容を勉強できる機会を増やす。 今後も、職員が資格を取得できるような職員の支援を継続する。
前回の改善計画に対する取組み結果
事業所では、資格取得を目指す職員の研修参加や受験の為の勤務体制を整えて、サポートしている。 研修は、Web研修になったものが多く、参加しやすくなった。資料の閲覧をし学習している。」

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	2	12	2	0	14
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	2	11	3	0	16
③	地域連絡会に参加していますか	0	8	6	1	15
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	0	13	2	0	15

できている点
ヒヤリハットや、事故後の検討を必ず行っており、リスクマネジメントに取り組んでいる。 事業所で、教育委員を中心に、各自、学習ファイルを作成し管理するようになったので、自身の研修参加状況が分かりやすくなった

できていない点
勤務体制の問題や感染症の影響で、外部の研修・地域連絡会の参加ができていない。

次回までの具体的な改善計画
10の基本ケアの学習を行い、それぞれの利用者のケアの仕方をチームで検討して、統一したケアができるようにする。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 2020年12月1日(16:00～16:30)

9. 人権・プライバシー

メンバー 平野・嶋野・笹本・木谷・高野・吉村・加藤

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	12人	3人	1人	16人

前回の改善計画
具体的に内容を計画し、様々な制度についての学習会を、職場会議を活用し推進していく。
前回の改善計画に対する取組み結果
毎月の職場会議での学習会は出来ていない。参加者が限られている。課題に上がる事が無い

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	身体拘束をしていない	8	8	0	0	16
②	虐待は行われていない	10	6	0	0	16
③	プライバシーが守られている	2	13	1	0	16
④	必要な方に成年後見制度を活用している	1	11	0	0	13
⑤	適正な個人情報の管理ができている	4	11	1	0	16

できている点
・ミーティングで話し合ったり、web研修を受講し自身の介助方法の振り返りを行ったりしている。必修研修として毎年行われている、 ・虐待はない

できていない点
・日中に玄関の鍵を掛けていることがあり、時に行動を制限してしまっていることがある ・セキュリティ事故がいくつかあった ・耳の遠い方への声掛けに大声で言うことがあり、プライバシー配慮に欠けていることがあった。

次回までの具体的な改善計画
ミーティングや職場会議を利用して、個人のプライバシーに関しての振り返りを定期的に行い、職員間の意識の違いが生じないようにする。チェック項目を作り振り返りをする。業務上のセキュリティ管理にも抜けがないようにチェック方法の見直しをする。